

作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

床置き 台座置き 壁付 (A面・ B面・ AB両面)

作品設置イメージ・制作方法

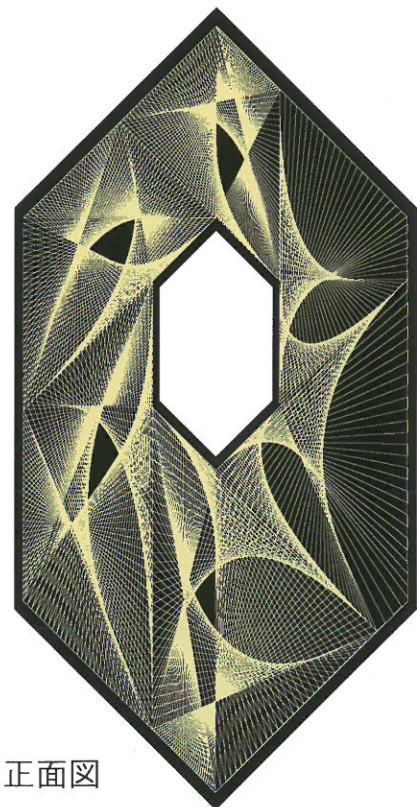
—ここまでの制作—

作品は、外の六角形と穴の開いた部分の六角形が相似の関係にある。また、内部は内側の六角形の各辺を延長した線によって区切られている。

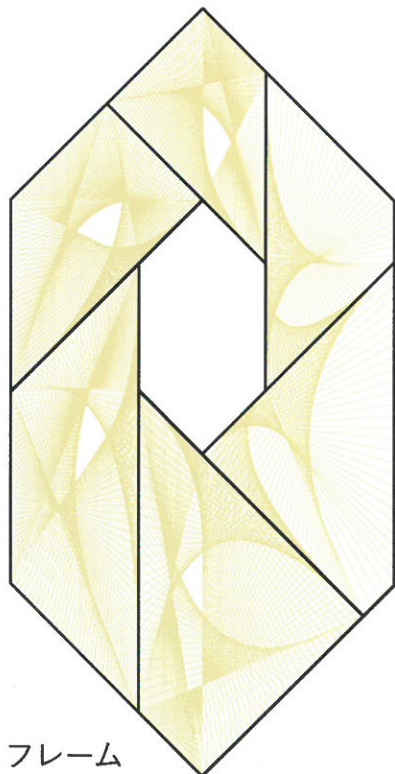
(フレーム図参照)

作品のスケッチをする際、外形の六角形を決定した後、対角線や垂直二等分線、斜め45°の線などによる分割を試みた。その結果、外形の3分の1の幅の相似形を内側に配置することにより、区切られたエリアがどこも均等でなく、かつ法則性を持った分割を得ることができた。

この内側の相似形こそが異分子であり、作品に持ち込まれた変数である。この異分子によって作品は法則性の殻を破り、それ自体が大きな異分子となる。



正面図



フレーム

—具体的な制作方法—

鉄板をレーザーカッターによって加工し、フレームワークを制作します。この加工の段階で、フレームにワイヤーを引っ掛けるための溝をつけます。

その後、出力した鉄板を溶接し、塗装を施してから、手前と奥の二層にワイヤーを張ります。

作品の周囲と中心部の六角形の穴部分は、それぞれ奥行き50mmの壁で囲います。

—設置に関して—

作品の裏側に支えを設置し、台座に差し込むようにしてしっかりジョイントし固定します。

また、照明の具合によっては上画像よりも奥に設置し、前面に光が当たるようにします。

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|----|-----|-------|-------|------|---|----|----|----------|
| 作品名 | Heterogen | | | 作品NO. | 72 | | | | | |
| 素材 | 鉄、ワイヤー | | | 想定重量 | 35 kg | | | | | |
| 作品タイプ | 台座置き | 横幅 | 630 | × | 高さ | 1230 | × | 奥行 | 50 | (単位: mm) |
| | 壁付 | 横幅 | | × | 高さ | | × | 奥行 | | (単位: mm) |

作品コンセプト

雪の研究で有名な中谷宇吉郎は「失敗作こそ美しい」といって、研究データをまとめる上では歓迎されないような、法則性に当てはまらない結晶を愛したといいます。完璧な均整のとれた美を賞賛するよりも、どこか失敗と思われるような歪なものを愛しく思えると言うのは、人間が不完全な存在だからではないかと思うのです。

合理化、画一化を求めてきた社会の中において芸術の持てる価値というのは、そういった「異分子で在る」ということのように思う。時に失敗作と揶揄されようが、システムの中で変数もしくは乱数として存在し続ける。

私はそんな構造の中における異分子の価値を考えながら今作のアイデアを練った。人の営みに作品が介入することは、構造(社会)の中に異分子(作品)を放り込み、その実験(人生)をもっと豊かにするようなことなのではないか。そしてその構造の中における異分子が形態に豊かさをもたらすよう図形を配置した。

【過去の自分の作品】 ※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください

